

年間指導計画表(シラバス)

科目名	言語文化	単位数	2単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>言語文化 改訂版(大修館書店)</p> <p>&lt;五訂版&gt;漢字検定 5～2 級対応常用漢字ダブルクリア(尚文出版)</p> <p>新演習現代文アチーブ1四訂版(桐原書店) スタディサプリ(リクルート)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価点	330点	330点	330点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語文化への視点 『世界を見わたす窓』</li> <li>・言葉を紡ぐ世界 『ゼイナブの指』</li> <li>・古文に親しむ 『宇治拾遺物語 児のそら寝』</li> </ul>	定期考査等 漢字テスト	定期考査等 ワークシートの記述分析	学習課題等 授業の行動観察 ワークシートの記述分析
	評価点	110点	110点	110点
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の紡ぐ世界 『羅生門』</li> <li>・伝統と発展 『実体の美と状況の美』 「短歌 十五首」「俳句 十二句」</li> <li>・言語文化への視点 『文字の神秘』</li> <li>・現代に生きる言葉 『完璧』『漢文から生まれた言葉』</li> </ul>	定期考査等 漢字テスト	定期考査等 ワークシートの記述分析	学習課題等 授業の行動観察 ワークシートの記述分析
	評価点	110点	110点	110点
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と世界 『外国語の不思議・日本語の不思議』</li> <li>・文学と人生 『城の崎にて』</li> </ul>	定期考査等 漢字テスト	定期考査等 ワークシートの記述分析	学習課題等 授業の行動観察 ワークシートの記述分析
	評価点	110点	110点	110点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	・ガイダンス・春課題復習	
	5	・言語文化への視点(評論一) 『世界を見わたす窓』 吉岡 乾	6 1 学期中間考査
	6	◆ ・言葉を紡ぐ世界(小説一) 『ゼイナブの指』 西 加奈子	10 1 学期期末考査
	7	◆ ・古文に親しむ(古文一) 『宇治拾遺物語 児のそら寝』	8
2 学 期	8	・言葉の紡ぐ世界(小説二) 『羅生門』 芥川 龍之介	8
	9	・伝統と発展(評論二) 『実体の美と状況の美』 高階 秀爾	10 2 学期中間考査
	10	◆ ・伝統と発展(短歌・俳句) 『短歌 十五首』『俳句 十二句』	7
	11	・言語文化への視点(評論三) 『文字の神秘』 若松 英輔	8
	12	◆ ・現代に生きる言葉(漢文一) 『完璧』 『漢文から生まれた言葉』	2 学期期末考査
3 学 期	1	◆ 冬休み明け課題考査	
	2	・日本と世界(評論四) 『外国語の不思議・日本語の不思議』 石井 洋二郎	6
	3	・文学と人生(小説三) 『城の崎にて』 志賀 直哉	7 学年末考査

## 5 その他

「常用漢字ダブルクリア」「新演習 現代文アチーブ1 四訂版」を定期試験および長期休業の課題とする。

「常用漢字ダブルクリア」 春課題p2～9 1学期中間試験p10～19 1学期期末試験p20～27

夏課題テストp28～35 2学期中間試験p36～43 2学期期末試験p44～51 冬課題テストp52～59

学年末試験p60～67

「新演習 現代文アチーブ1 四訂版」 春課題p4～9 1学期中間試験p10～15

1学期期末試験p16～21 夏課題テストp22～35 2学期中間試験p36～41

2学期期末試験p42～49 冬課題テストp50～59 学年末試験p60～75



年間指導計画表(シラバス)

科目名	地理総合	単位数	2 単位
		学年等	1 年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
使用教科書 副教材等	地理総合(東京書籍)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりしたことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価点	150 点	150 点	150 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	地図や地理情報システムで捉える現代世界 地図や地理情報システムと現代世界 国際理解と国際協力 生活文化の多様性と国際理解	・定期考査	・定期考査	・日々の取り組み ・レポート課題
	評価点	50 点	50 点	50 点
2 学期	地球的課題と国際協力 持続可能な地域づくりと私たち 自然環境と防災	・定期考査	・定期考査	・日々の取り組み ・レポート課題
	評価点	50 点	50 点	50 点

3 学期	生活圏の調査と地域の展望	・定期考査	・定期考査	・日々の取り組み ・レポート課題
	評価点	50点	50点	50点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	地図や地理情報システムでとらえる現代世界 地図と地理情報システム	10
	5	私たちが暮らす世界 地図や地理情報システムの役割	9
	6	資料から読み取る現代世界	
	7		
1学期期末考査			
2 学期	8	国際理解と国際協力 人々の生活文化と多様な地理的環境 生活文化の多様性と国際理解	16
	9	生活文化と自然環境①地形 生活文化と自然環境②気候	15
	10	生活文化と社会環境①産業 生活文化と社会環境②宗教・民族	
	11	さまざまな地球的課題と国際協力 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題	
	12	食料問題 住居・都市問題 民族問題・紛争と平和の構築 持続可能な社会の実現をめざして	
	2学期期末考査		
3 学期	1	持続可能な地域づくりと私たち 自然環境と防災	15
	2	日本の自然環境の特色 さまざまな自然災害と防災	5
	3	生活圏の調査と地域の展望	
学年末考査			

#### 5 その他

- ・基礎的な知識や理解を踏まえて、ペア学習やグループ学習等を行います。
- ・定期考査ごとに、ワークブックおよび振り返りシートの提出を求めます。
- ・デジタル地図や RESAS などのツールを用いた探究活動を行います。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	数学 I	単位数	3単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>改訂版 最新 数学 I (数研出版)</p> <p>改訂版 数学入門スタートワーク(数研出版)</p> <p>改訂版 書き込み式シリーズ【基本～標準】教科書傍用 パラレルノート 数学 I (数研出版)</p> <p>スタディサプリ(リクルート)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしている。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	<p>〔数と式〕</p> <p>第1章 数と式</p> <p>第2章 集合と命題</p> <p>〔二次関数〕</p> <p>第3章 二次関数</p>	・定期試験	・定期試験 ・パフォーマンス課題	・学習課題 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
2学期	<p>第3章 二次関数</p> <p>〔図形と計量〕</p> <p>第4章 図形と計量</p>	・定期試験	・定期試験 ・パフォーマンス課題	・学習課題 ・パフォーマンス課題
	評価点	100点	100点	100点
3学期	<p>第4章 図形と計量</p> <p>〔データの分析〕</p> <p>第5章 データの分析</p>	・定期試験	・定期試験 ・パフォーマンス課題	・定期試験 ・パフォーマンス課題
	評価点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学期	4	〔数と式〕 第1章 数と式 第1節 数と式 1. 多項式	18	
	5	2. 多項式の加法・減法・乗法 3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫 5. 因数分解 6. いろいろな因数分解 第2節 実数 7. 実数 8. 根号を含む式の計算		
	6	◆----- 第3節 1次不等式 9. 不等式 10. 不等式の性質 11. 1次不等式の解き方 12. 連立不等式 13. 不等式の利用	15	
	7	第2章 集合と命題 1. 集合と部分集合 2. 共通部分、和集合、補集合 3. 命題と集合	15	
		〔二次関数〕 第3章 二次関数 第1節 二次関数とグラフ 1. 関数 2. 関数とグラフ 3. $y=ax^2$ のグラフ 4. $y=ax^2+q$ のグラフ 5. $y=a(x-p)^2$ のグラフ 6. $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ		
			◆----- 1学期中間試験	
			◆----- 1学期期末試験	
2 学期	8	7. $y=ax^2+bx+c$ のグラフ 8. 二次関数の最大・最小	15	
	9	9. 二次関数の決定 第2節 二次方程式と2次不等式 10. 2次方程式 11. 2次関数のグラフとx軸の共有点 12. 2次不等式 13. 2次不等式の利用		
	10	◆----- 2学期中間試験		
	11	〔図形と計量〕 第4章 図形と計量 第1節 三角比 1. 鋭角の三角比 2. 三角比の利用 3. 三角比の相互関係 4. 三角比の拡張 5. 三角比が与えられたときの角	24	
	12	◆----- 2学期期末試験		
3 学期	1	第2節 正弦定理・余弦定理 6. 正弦定理 7. 余弦定理 8. 三角形の面積 9. 図形の計量	12	
	2	〔データの分析〕 第5章 データの分析 1. データの整理 2. データの代表 3. データの散らばり 4. データの相関 5. 相関係数 6. 分割表 7. 仮説検定の考え方	6	
	3	◆----- 学年末試験		

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	体育	単位数	2 単位
		学年等	1 学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。</p> <p>(1)運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)運動における競争や協働を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)</p> <p>ステップアップ高校スポーツ2026(大修館書店)・現代高等保健体育ノート(改訂版)(大修館書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。
評価点	90点	90点	90点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・体づくり運動</li> <li>・体育理論</li> <li>・陸上競技「リレー」</li> <li>・種目別選択授業</li> </ul> 単元1「スポーツの発祥と発展」 第1・2・3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の行動観察</li> <li>・実技テスト</li> <li>・筆記テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の行動観察</li> <li>・学習カード等の記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提出</li> <li>・学習カード等の記述分析</li> </ul>
	評価点	30点	30点	30点
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育理論</li> </ul> 単元1「スポーツの発祥と発展」 第4・5・6章 ・種目別選択授業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の行動観察</li> <li>・実技テスト</li> <li>・筆記テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の行動観察</li> <li>・学習カード等の記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題提出</li> <li>・学習カード等の記述分析</li> </ul>
	評価点	30点	30点	30点

3 学期	・種目別選択授業 ・陸上競技「長距離走・駅伝」	・授業の行動観察 ・実技テスト ・筆記テスト	・授業の行動観察 ・学習カード等の記述 分析	・課題提出 ・学習カード等の記述 分析
	評価点	30点	30点	30点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	・オリエンテーション ・体づくり運動、集団行動・集団作り	25
	5	・陸上競技 リレー	
	6	・種目別選択制授業Ⅰ	
	7	1 ダンス	
		2 バレーボール	
		3 ソフトボール	
		4 テニス	
「体育理論」は7月の期末試験後に実施する。			
1	1 スポーツの始まりと変遷 2 文化としてのスポーツ 3 オリンピックとパラリンピックの意義		
2 学期	8	「体育理論」は8月に実施する。 4 スポーツが経済に及ぼす効果 5 スポーツの高潔さとドーピング 6 スポーツと環境	30
	9	・種目別選択制授業Ⅱ	
	10	1 卓球	
		2 バドミントン	
		3 バレーボール	
		4 サッカー	
	12	・種目別選択制授業Ⅲ 1 バドミントン 2 バスケットボール 3 サッカー 4 テニス	
3 学期		1 ・種目別選択制授業Ⅲの続き	15
		2 ・陸上競技「長距離走」 駅伝	
		3	

#### 5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	保健	単位数	1 単位
		学年等	1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)</p> <p>現代高等保健体育ノート(改訂版)(大修館書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・保健ノートの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・保健ノートの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題等</li> <li>・保健ノートの記述分析</li> </ul>
		50点	50点	50点
2 学期	1 単元 現代社会と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・保健ノートの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・保健ノートの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題等</li> <li>・保健ノートの記述分析</li> </ul>
		50点	50点	50点
3 学期	2 単元 安全な社会生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・保健ノートの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業中の行動観察</li> <li>・保健ノートの記述分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題等</li> <li>・保健ノートの記述分析</li> </ul>
		50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	現代社会と健康 健康の考えと成り立ち 健康成立の要因をあげて説明できる 私たちの健康のすがた 我が国の現在の健康問題について例をあげて説明できる	3
	5	生活習慣病の予防と回復 種類と要因について説明できる がんの原因と予防 種類や原因、一次予防・二次予防について例をあげて説明できる	4
	6	がんの治療と回復 治療法や緩和ケアについて説明できる 運動と健康 運動と健康の関係について説明できる 食事と健康 食事と健康の関係や摂り方について説明できる	5
	7	休養・睡眠と健康 健康と休養、睡眠のとり方について説明できる	
		1 学期期末考査	
	8	喫煙と健康 喫煙者や周囲への害、その健康対策について説明できる	4
	9	飲酒と健康 短期的・長期的影響や個人・社会対策について説明できる 薬物乱用と健康 心身の健康や社会影響、乱用防止方法について説明できる	4
2 学期	10	精神疾患の特徴 例をあげ、発病の要因と主な症状について説明できる 精神疾患の予防 予防法と早期発見に必要な手立てが説明できる 精神疾患からの回復 適切な治療や回復に向けた社会環境が説明できる	4
	11	現代の感染症 潜伏期間や感染力、新興感染症などについて説明できる 感染症の予防 予防の3原則、個人・社会対策について説明できる 性感染症・エイズとその予防 性感染症やエイズと他の違いや対策を説明できる	4
	12	健康に関する意思決定・行動選択 その要因や工夫を例をあげて説明できる 健康に関する環境づくり 社会環境の影響について説明できる	3
		2 学期期末考査	
3 学期	1	安全な社会生活 事故の現状と発生要因 実態と被害・加害、人的・環境要因について説明できる 安全な社会の形成 個人の行動・環境整備について説明できる 交通における安全 事故防止の取り組みと3つの責任を説明できる	3
	2	応急手当の意義とその基本 応急手当の意義と確認観察するポイントを説明できる 日常的な応急手当 熱中症や応急手当の手順・方法が説明でき実践できる	5
	3	心肺蘇生法 方法と手順を理解し実践できる	
		学年末考査	

5 その他

--

年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽 I	単位数	2 単位
		学年等	1 年生

1 学習の到達目標等

学習の 到達目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>MOUSA1(教育芸術社)</p> <p>改訂 音楽通論(教育芸術社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。</p>
評価点	300 点	300 点	300 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	<p>【歌唱】 斉唱, 独唱</p> <p>【鑑賞】 西洋音楽史</p> <p>【器楽】 クラシックギター</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p> <p>筆記テスト</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p> <p>筆記テスト</p>	<p>行動観察</p> <p>ワークシートの記述</p>
	評価点	100 点	100 点	100 点
2 学期	<p>【歌唱】 合唱</p> <p>【創作】 アレンジ・リズムアンサンブルなど</p> <p>【鑑賞】 日本の音楽・世界の音楽</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p> <p>筆記テスト</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p> <p>筆記テスト</p>	<p>行動観察</p> <p>ワークシートの記述</p>
	評価点	100 点	100 点	100 点
3 学期	<p>【器楽】 レンタル楽器使用(三線予定)</p> <p>【鑑賞】 舞台芸術(オペラ・ミュージカル)など</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p>	<p>実技テスト</p> <p>ワークシートの記述</p>	<p>行動観察</p> <p>ワークシートの記述</p>
	評価点	100 点	100 点	100 点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1学期	4	【歌唱】校歌(斉唱), Ave Maria, O' sole mio, 野ばら など	12
	5 6	・正しい発声法を理解し, 曲想と歌詞の関わりや強弱, 旋律の特徴などを生かし, 曲にふさわしい表現を考え歌唱する。	
		【鑑賞】西洋音楽史 ・中世～近現代の音楽の特徴や時代背景を理解し, その良さを味わう。	6
	7	【器楽】クラシックギター「第3の男」など ・楽器の特徴やチューニングの方法, タブ譜の読み方や様々な奏法を理解する。 ・旋律とコードでアンサンブルを行い, 想いや意図をもって演奏する。	8
2学期	8	【歌唱】合唱	10
	9	・パートの役割を理解し, 表現を工夫して合唱を行う。	
	10	【創作】アレンジ・リズムアンサンブルなど ・身近なものを使ってリズムを演奏し, 試行錯誤しながら音の出し方を工夫する。	10
	11	・音楽を形作っている要素を変化させながら, 他者と協働して表現を工夫し, リズムアンサンブルを演奏・発表する。	
12	【鑑賞】日本の音楽・世界の諸民族の音楽 ・日本の能や歌舞伎, 民謡など様々な音楽を鑑賞し, 文化的・歴史的背景についての理解を深めながら我が国や郷土の伝統音楽についての良さを味わう。 ・世界の音楽について, 文化的・歴史的背景や, 他の芸術との関わりについて考えながら, その良さを味わう。	6	
3学期	1	【器楽】三味線 ・楽器の特徴や奏法について理解し, 和楽器の良さや味わいながら弾き歌いを行う。	12
	2		6
	3	【鑑賞】総合芸術(オペラ・ミュージカルなど) ・物語のあらすじや内容を理解し, 登場人物の心情や表現を感じ取る。	

#### 5 その他

- 週1回2時間連続での授業になります。ペア・グループでの学習が多いので, 積極的に参加し取り組んでください。
- 題材ごとに実技テストを実施します。(発表会形式での実施もあります。)
- 学期に1回, 授業内で筆記テストを実施します。(内容によっては小テスト実施)

年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術 I	単位数	2単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>新・高校生の美術1(日本文教出版)</p> <p>その他:スケッチブック、デザインセット、F6号キャンパスボード 等</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を高め、芸術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	<p>【A 表現】鉛筆デッサン</p> <p>【B 鑑賞】教科書掲載作品等の鑑賞</p>	<p>・作品提出</p> <p>・授業の行動観察</p>	<p>・作品提出</p> <p>・ワークシート</p> <p>・完成後の感想記入</p> <p>・授業の行動観察</p>	<p>・作品提出</p> <p>・授業の行動観察</p>
	評価点	50点	50点	50点
2 学 期	<p>【A 表現】模写</p> <p>【B 鑑賞】教科書掲載作品等の鑑賞, 作家レポート, 文化祭展示鑑賞</p>	<p>・作品提出</p> <p>・レポート</p> <p>・授業の行動観察</p>	<p>・作品提出</p> <p>・レポート</p> <p>・完成後の感想記入</p> <p>・授業の行動観察</p>	<p>・作品提出</p> <p>・レポート</p> <p>・授業の行動観察</p>
	評価点	50点	50点	50点
3 学 期	<p>【A 表現】切り絵</p> <p>【B 鑑賞】教科書掲載作品等の鑑賞, 展覧会鑑賞レポート</p>	<p>・作品提出</p> <p>・レポート</p> <p>・授業の行動観察</p>	<p>・作品提出</p> <p>・完成後の感想記入</p> <p>・授業の行動観察</p>	<p>・作品提出</p> <p>・レポート</p> <p>・授業の行動観察</p>
	評価点	50点	50点	50点

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション ・準備物, 授業の進め方の説明 ・自己紹介	2
		○鉛筆の基本的な使い方 ・鉛筆の種類, 基礎知識 ・表現のバリエーション	2
	5	○鉛筆デッサン(ティッシュ箱、サザエ) ・構図の取り方(エスキース) ・遠近法 ・鉛筆の使い分け	10
	6	・素材の描き分け ・立体感の表現	
		○鉛筆淡彩(サザエ) ・絵の具の扱い方	4
	7	○模写 ・小作品(漫画)での練習 ・作品の選択	8
2 学 期	8	・比率計算, マス目引き	20
	9	・下書き, 着彩	
	10	○作家レポート作成、発表	
	11	・模写作品に関するレポート作成(夏期休業中の課題) ・発表	
	12	○切り絵(デザイン) ・テーマの選択 ・小作品での練習	6
3 学 期	1	・線画制作	18
	2	・線画の裁断	
	3	・画用紙による色付け ○展覧会鑑賞レポート ・各自が赴いた展覧会についてレポートを書く (1~2学期中の提出も可能だが, 評価は3学期に含めるものとする)	

#### 5 その他

- ・中間考査, 期末考査は実施しない。
- ・作品の提出期限を厳守すること。×切時点で採点するので, 未完成の場合大幅な減点となる。なお, 期限を過ぎたとしても, 作品は必ず完成させること。
- ・3学期に記載の「展覧会鑑賞レポート」は, 4月の課題説明後, いつ提出しても構わない。ただし, 鑑賞後速やかに提出するものとし, 提出時期に関わらず評価は3学期に含める。
- ・年度末の単位認定は, すべての課題の提出が完了していることを前提とする。(長期療養等の事情がある場合は, 芸術科会で検討し判断する)

年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道 I	単位数	2単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>新編 書道 I (教育出版)</p> <p>新版 応用ペン習字(教育図書)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。</p> <p>・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。</p>	<p>・書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりしている。</p>	<p>・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。</p>
評価点	100点	100点	100点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	○漢字の書 I ・楷書の学習	・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・活動の様子 ・作品 ・ワークシート
	評価点	30点	30点	30点
2 学 期	○漢字の書 I ・行書の学習 ・漢字作品制作	・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・活動の様子 ・作品 ・ワークシート
	○漢字仮名交じりの書  ○漢字の書 II ・篆書の学習			
評価点	35点	35点	35点	
3 学 期	○漢字の書 II ・篆刻の学習	・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・活動の様子 ・作品 ・ワークシート
	○仮名の書			
評価点	35点	35点	35点	

#### 4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	○オリエンテーション ・書道の学習内容を理解する。 ・用具・用材とその扱いを学習する。 ・正しい姿勢・執筆法を学習する。	26
	5		
	6	○漢字の書Ⅰ ・書体の変遷を学習する。 ・古典の学び方について理解する。 ・楷書の古典を学習する。(九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑、雁塔聖教序、顔氏家廟碑など)	
	7		
2 学 期	8	○漢字の書Ⅱ ・行書の特徴を理解する。 ・行書の古典を学習する。(蘭亭序、祭姪稿、風信帖など)	26
	9	・さまざまな古典を鑑賞し、特徴や表現を学習し漢字作品を制作する。 ・完成作品を鑑賞する。	
	10	○漢字仮名交じりの書 ・漢字と仮名の調和や全体構成を工夫し、古典に立脚した作品を制作する。	
	11	○漢字の書Ⅱ ・篆書の特徴を理解する。	
	12		
3 学 期	1	○漢字の書Ⅱ ・篆刻について学習し、落款印を制作する。	18
	2	○仮名の書 ・仮名の成立と発達、姿勢・執筆などを理解する。 ・仮名の基本的な筆使いで平仮名、変体仮名を表現する。	
	3	・連綿を理解し、高野切第三種などの古筆を臨書する。  ○生活の中の書(硬筆) ・硬筆の正しい姿勢・執筆法を理解し、漢字や平仮名などの単体を美しく表現する。	

#### 5 その他

- 書道Ⅰの授業では感性を働かせて作品のよさや美しさを捉えることが重要です。作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。筆や硯などの用具は大切に扱きましょう。制作については何を表現したいか、表現の意図を大切に、詩文の選定、用具・用材を選択し、作品を構想し表現を工夫していきましょう。
- 表現の技能の習得について、1枚ごとに自らの課題や問題点を見極め、それを解決できるように学習を進めることが大切です。学習の記録を丁寧に書き、学習の過程を振り返ることができるようにしておきましょう。

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーション I	単位数	4単位
		学年等	1年生

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、多くの支援を活用する技能や、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、多くの支援を活用する力や、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>Revised LANDMARK Fit English Communication I (啓林館) 基礎完成ノート (第一学習社) 改訂版 長文読解の基礎力養成シリーズ Joy Reader 1 (数研出版) 英単語ターゲット1200 改訂版(旺文社) 総合英語 EMPOWER Essential COURSE(桐原書店) 書いて身につくパターンプラクティス英文法教室 3rd Edition(桐原書店) スタディサプリ(リクルート) One-Weekトライアル(ベネッセ)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。</p> <p>・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、多くの支援を活用する技能や、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、多くの支援を活用することによって、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	270点	270点	270点

### 3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Lesson 1 Enjoy Your Journey ! (話すこと[やり取り])	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・学習課題等 ・ワークシートやノートの記述分析
	Lesson 2 Curry Travels around the World (読むこと)	・ワークシートやノートの記述分析	・ワークシートやノートの記述分析	・パフォーマンステスト
	Lesson 3 What Do You Wear to School? (聞くこと)			
	評価点	100点	100点	100点
2 学 期	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima (話すこと[発表])	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・学習課題等 ・ワークシートやノートの記述分析
	Lesson 5 Communication without Words(話すこと[やり取り])	・ワークシートやノートの記述分析	・ワークシートやノートの記述分析	・パフォーマンステスト
	Lesson 6 Chirori the Therapy Dog (書くこと)			
	評価点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 7 Cacao Revolution (読むこと)	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・定期考査等 ・小テスト ・パフォーマンステスト	・学習課題等 ・ワークシートやノートの記述分析
	Lesson 8 The Secret Life of a Gamar (聞くこと)	・ワークシートやノートの記述分析	・ワークシートやノートの記述分析	・パフォーマンステスト
	評価点	70点	70点	70点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Lesson 1 Enjoy Your Journey! 日常的な話題(新生活の抱負)について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを理由とともに話して伝える。	16
	5	-----1学期中間考査	
	6	Lesson 2 Curry Travels around the World 日常的な話題(カレーの歴史)について、必要な情報を読み取り、概要や要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを伝える。	18
	7	Lesson 3 What Do You Wear to School? 日常的な話題(制服)について、必要な情報を聞き取り、読み手の意図を把握する。 -----1学期期末考査	18
2 学 期	8	Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima 日常的・社会的な話題(環境)について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを論理性に注意して話して伝える。	20
	9		
	10	Lesson 5 Communication without Words 日常的・社会的な話題(言葉を用いないコミュニケーション)について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを理由とともに話して伝える。 -----2学期中間考査	18
	11		
	12	Lesson 6 Chirori the Therapy Dog 日常的・社会的な話題(セラピードッグの生涯)について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを理由とともに書いて伝える。 -----2学期期末考査	18
3 学 期	1	Lesson 7 Cacao Revolution 社会的な話題(海外での日本人の活躍)について、必要な情報を読み取り、概要や要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを伝える。	16
	2		
	3	Lesson 8 The Secret Life of a Gamer 社会的な話題(ネット友達)について、必要な情報を聞き取り、概要や要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを伝える。 -----3学期学年末考査	16

## 5 その他

- ・予習をして、授業に臨むこと。
- ・家庭でも音読練習に取り組むこと。
- ・パフォーマンステストを毎学期に1回以上行う。
- ・副教材『EMPOWER』は教科書で扱う文法事項の補強として使用する。
- ・副教材『基礎完成ノート』は中学校と高校との橋渡し教材として、入学前の課題に使用する。
- ・副教材『Joy Reader』は長期休業の課題として使用する。
- ・副教材『英単語ターゲット 1200』は教科書で扱う単語関連の補強として使用する。週に1時間、単語テストを行う。
- ・副教材『英文法教室』は教科書で扱う文法の補強として使用する。週に1時間、小テストを行う。
- ・副教材『スタディサプリ』は長期休業や週末課題として使用する。